

# 平成28年度第1回 旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン懇談会

- 日時 平成28年11月14日（月）  
午前10時00分から1時間30分程度
- 場所 員弁コミュニティプラザ2階集会室

## 次 第

### 1 開会

### 2 委嘱状交付

### 3 委員等自己紹介

### 4 座長あいさつ

### 5 説明及び審議事項

(1)平成27年度事業取組経過報告について

送付済資料1(修正版)

(2)平成28年度追加施策等について

資料2・3

(3)成果指標の設定について

資料4

### 6 意見交換会

### 7 閉会



# 旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン

平成27年度 事業取組経過報告書

修正版

いなべ市・東員町

平成28年11月

## 第2次旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン取組

### 1. 定住自立圏構想の目的

市町が連携・協力することにより、圏域全体として必要な生活機能等を確保し、地域における定住の受け皿を形成する。その結果として、地方から三大都市圏への人口の流出をくい止めるとともに地方への人の流れを創出する。

### 2. 期間 平成27年度から平成31年度（5か年）

### 3. 連携・協力の概要

政策分野	取組事業	総事業費（千円）
①生活機能の強化	37	5,866,354
②結びつきやネットワークの強化	20	2,339,445
③圏域マネジメント能力の強化	5	202,344
合計	62	8,408,143

### 4. 住民基本台帳の人口推移

第1次 第2次

人	2010年 平成22年	2011年 平成23年	2012年 平成24年	2013年 平成25年	2014年 平成26年	2015年 平成27年
いなべ市	46,662	46,575	46,657	46,263	46,162	46,074
東員町	25,850	25,811	25,889	25,763	25,763	25,575
合計	72,512	72,386	72,546	72,026	71,925	71,649

出典：住民基本台帳（※基準日：いなべ市4月1日、東員町3月31日）

### 5. 国勢調査の人口

人	2000年 平成12年	2005年 平成17年	2010年 平成22年	2015年 平成27年
いなべ市	45,630	46,446	45,684	45,815
東員町	26,305	25,897	25,661	25,344
合計	71,935	72,343	71,345	71,159

出典：総務省統計局（国勢調査）

### 6. 将来推計人口

人	2010年 平成22年	2015年 平成27年	2020年 平成32年	2025年 平成37年	2030年 平成42年	2035年 平成47年
圏域	71,345	71,159	67,973	65,764	63,219	60,374

出典：総務省統計局（平成22年度・27年度国勢調査）

平成32年度以降国立社会保障・人口問題研究所推計

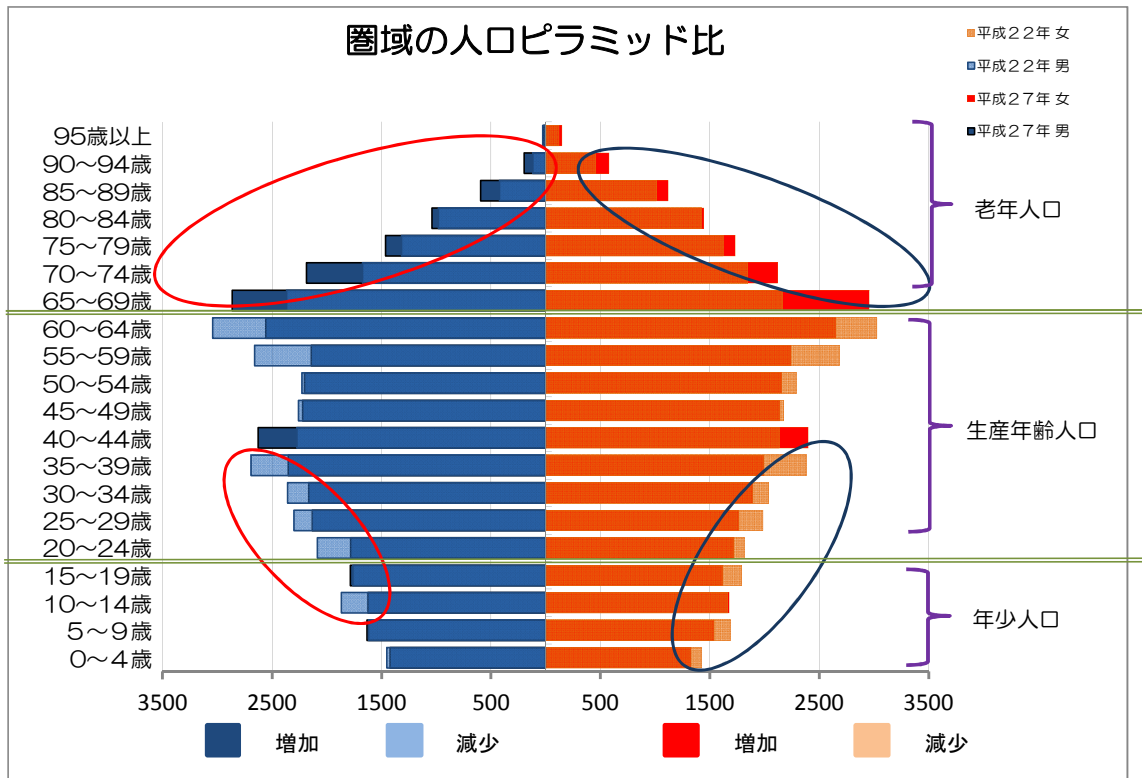
### 7. 人口ビジョンによる推計人口（平成32年）

いなべ市：45,301人 東員町：24,454人 合計：69,755人

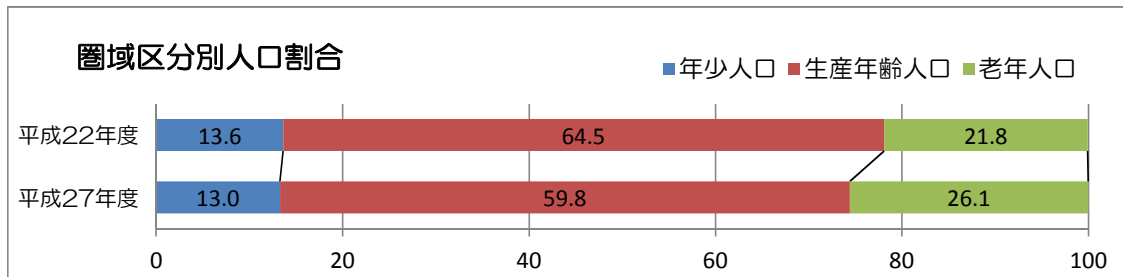
出典：いなべ市人口ビジョン・東員町人口ビジョン

### 8. 第2次旧員弁郡定住自立圏共生ビジョンにおける将来人口目標（平成31年度末時点）

いなべ市：46,200人 東員町：25,800人 合計：72,000人



出典：総務省統計局（平成22年度・27年度国勢調査）



圏域	年少人口 (0~14歳)		生産年齢人口 (15~64歳)		老年人口 (65歳~)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
平成22年度	4,939	4,779	23,662	22,327	6,907	8,644
平成27年度	4,683	4,547	21,975	20,587	8,376	10,166
	-256	-232	-1,687	-1,740	1,469	1,522

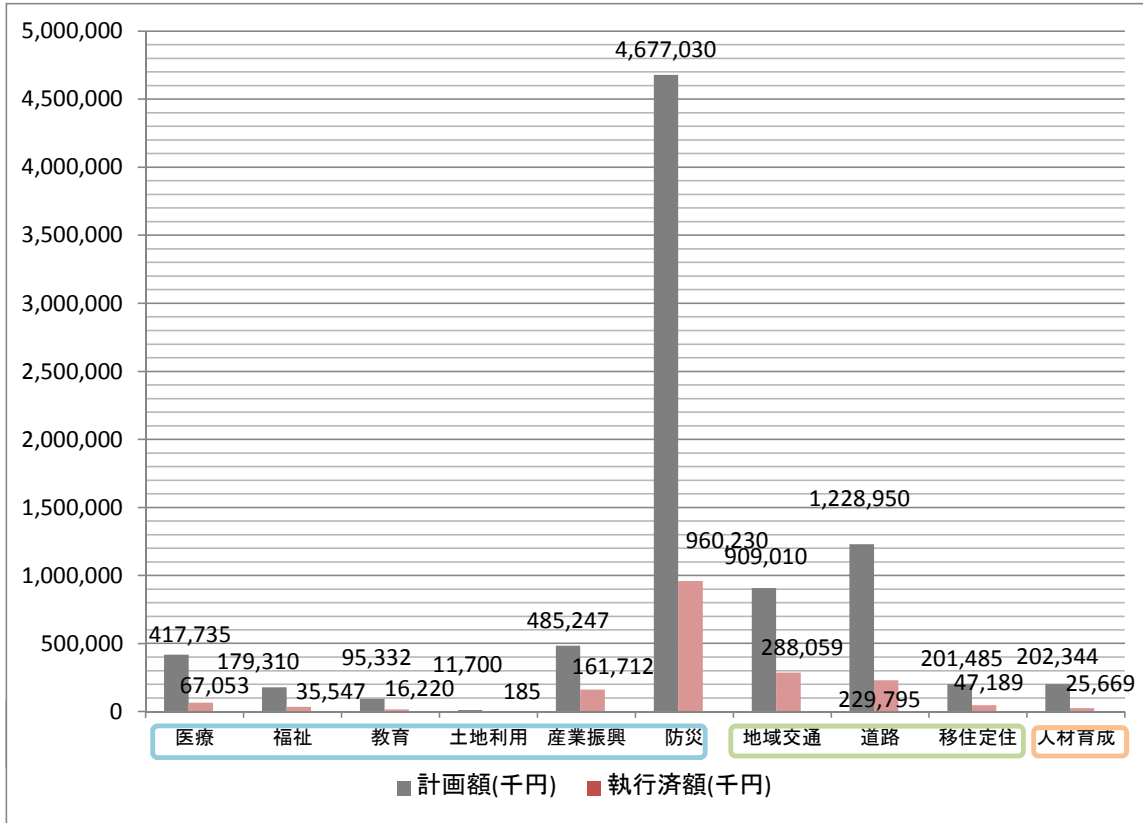
出典：総務省統計局（平成22年度・27年度国勢調査）

旧員弁郡定住自立圏の人口は、平成22年から平成25年まで72,000人台で推移してきましたが、平成26年には72,000人台を割り込みました。平成22年と27年の人口構成を比較すると、高齢化は大きく進み、少子化も徐々に進行しています。人口減少と少子高齢化はさらに拡大すると予想されます。

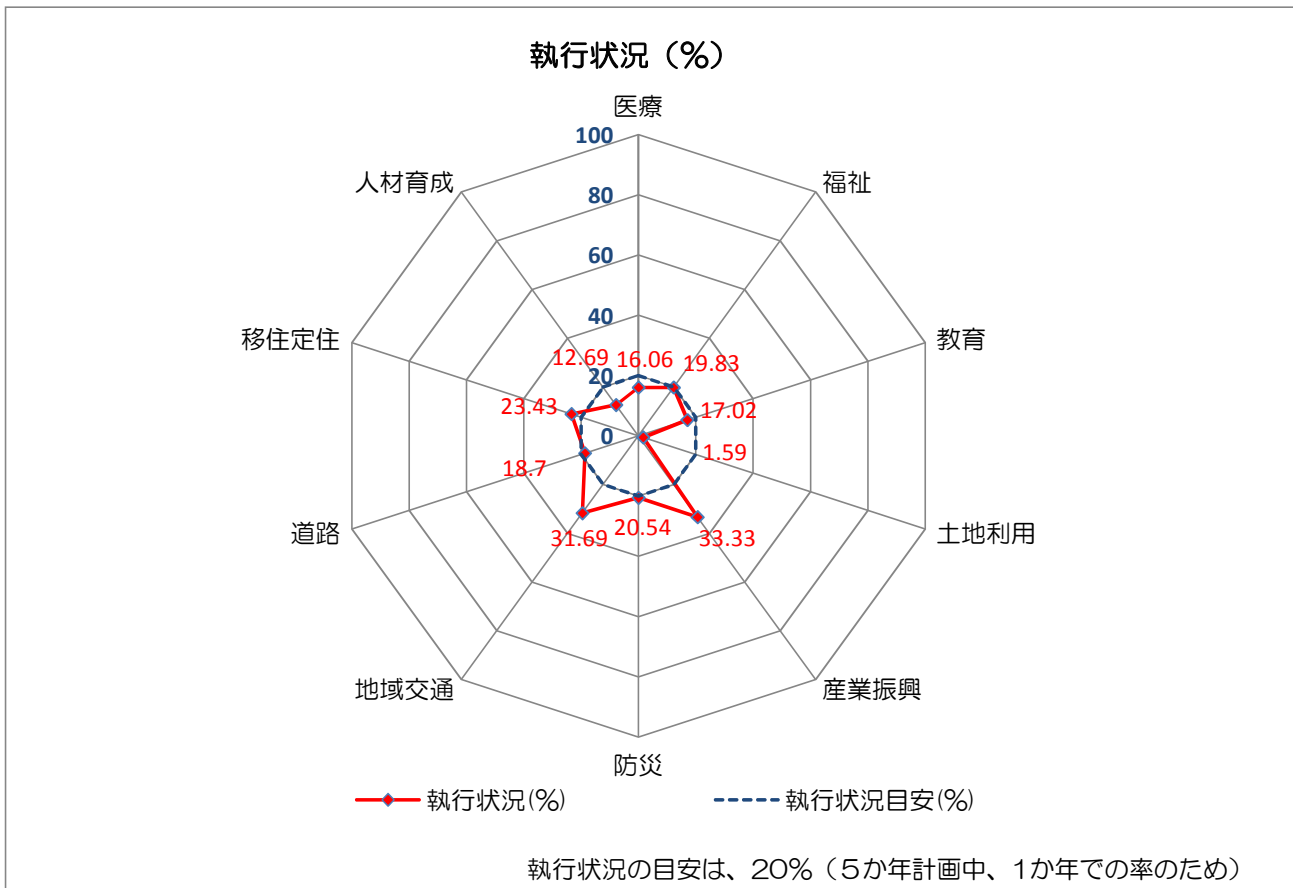
今後は団塊の世代が後期高齢者となる平成37年（2025年）を見据え、高齢化の進行に対応した高齢者福祉の充実が重要となります。また、少子化対策として安心して子どもを生育できる環境づくりが重要となります。

## 第2次旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン計画額に対する執行状況について

旧員弁郡定住自立圏共生ビジョンで掲げた計画額に対する現在の執行状況（金額による達成状況）は次のとおりです。ただし、執行状況は、平成27年度までです。



政策分野	項目	計画額(千円)	執行済額(千円)	執行状況(%)
生活機能の強化に係る政策分野	医療	417,735	67,053	16.06
	福祉	179,310	35,547	19.83
	教育	95,332	16,220	17.02
	土地利用	11,700	185	1.59
	産業振興	485,247	161,712	33.33
	防災	4,677,030	960,230	20.54
結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	地域交通	909,010	288,059	31.69
	道路	1,228,950	229,795	18.7
	移住定住	201,485	47,189	23.43
圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	人材育成	202,344	25,669	12.69



平成27年度の事業の進捗状況を確認すると、土地利用、産業振興、地域交通、人材育成の項目では、執行状況が目安の20%よりも開きの大きい執行状況となっています。主な理由は、次のとおりです。

(1) 土地利用

【いなべ市】都市計画マスタープラン策定のため、臨時職員の雇用を予定していましたが、雇用を見送ったため執行率が低くなりました。

【東員町】東員インターチェンジ開通を見込み、都市計画審議会の運営などに経費を見込んでいましたが、開通が平成28年度に遅れたこともあり、都市計画審議案件が想定よりも少なく、都市計画推進事務経費が抑制されたため執行率が低くなりました。

(2) 産業振興

【いなべ市】「地産地消推進事業」・「観光客受入施設管理事業」・「観光資源開発発信事業」で執行率が低かったのですが、「企業誘致推進事務」において丹生川上の残土処分用地の買戻しがあったため、大幅に執行率が高くなりました。

【東員町】「喜び農業推進事業」のビニールハウス設置等、初期投資年度年度であったため執行状況が高くなりました。

(3) 地域交通

（三岐鉄道支援事業）平成28年度以降の支援のあり方については、平成27年度に、沿線市町と協議を行うこととしており、計画策定段階では北勢線事業運営維持補助金が計上されていないため、執行率が高くなりました。

(4) 人材育成

【いなべ市】研修会の講師等に費用をかけることなく事業を行えたため、執行率が低くなりました。

【東員町】研修などを連携開催することで経費を抑えることができたことや、「市民活動センター事業」の計画見直しがあったため執行率が低くなりました。

以上を含め全体の計画額の見直しを行い、改訂時に反映いたします。

1 生活機能の強化に係る政策分野

No.	分野	事業名	事業概要	平成27年度事業実績
1	医療	いなべ総合病院救急医療体制確保支援事業	いなべ総合病院の24時間救急医療体制の維持を支援するため財政支援を行う。	いなべ総合病院24時間救急医療体制（搬送・外来・入院） 救急搬送 外 来 入 院 いなべ市 776件 60,636件 3,838件 東 員 町 213件 10,933件 953件 合 計 989件 71,569件 4,791件
2	医療	産科医療確保支援事業	出産取扱医療機関が、産科医等の処遇改善策として分娩手当を支給する場合に費用の一部を助成する。	出産取扱医療機関が産科医等の処遇改善策として手当を支給しています。いなべ市では、いなべ総合病院で出産された102件分の費用の一部を助成しました。
3	医療	医療従事者緊急確保事業	圏域の中核病院が、民間診療所と連携、役割分担し、救急指定医療機関、病院群輪番制病院運営事業参加医療機関、24時間一般診療医療機関として中核機能を果たすために必要となる医師、看護師等医療従事職員の確保にあたり必要な院内託児施設や研修医宿泊施設の運営について助成を行う。	圏域の中核病院が民間診療所と連携、役割分担し、中核機能を果たすために必要である医療従事者の確保にあたり、院内託児所の運営(16:00～1:00 利用者15名)、研修医宿泊施設(1棟8室)の確保に対する助成を行いました。
4	医療	医師養成奨学金事業	大学の医学を履修する課程に在学する者のうち、一定の要件を満たす者に修学資（月額12万円）を貸与する。	対象の学生（2名）から奨学金貸付申請があり、面接の結果、適当と判断し修学資金の貸し付けを行いました。
5	医療	いなべ総合病院医療従事者等研修啓発事業	いなべ総合病院において、大学病院等圏域の外部人材の講師を招き医師・看護師等医療従事者に研修を行うことにより、魅力的な研修環境とすることで医療従事者を確保する。なお、研修は公開講座とし、医療知識を市民へ還元することで意識の向上に加え、市民の健康増進と適正受診の推進も図る。	いなべ総合病院を会場に医療講座（秋、春2回）を開催し、あわせて91人の参加がありました。 医療講座 11/28 55名 3/26 36名
6	医療	一次救急医療体制確保事業	圏域の中核病院との連携の下、民間診療所が交替して行う休日診療をいなべ医師会に委託する。	休日診療実績 当番日数 70日 利用者数 325件
7	医療	二次救急医療体制確保事業	病院群輪番制病院運営事業参加医療機関の二次救急診療体制の運営に対し支援を行う。	二次救急診療実績 当番日数 88日 利用者数 1,447名（入院 185名、外来 1,262名）
8	医療	適正受診等啓発事業	軽症での総合病院受診、安易な夜間・休日の受診（いわゆる“コンビニ受診”）を抑制し適正受診を普及させるため、いなべ医師会及び関係機関と連携するなどして、適正受診、「かかりつけ医」の役割・必要性などの啓発を行う。	いなべ市では、市の広報誌やホームページに啓発記事を掲載し、保健師が訪問時にも啓発、情報提供をしています。
9	医療	妊婦健康診受診等啓発事業	妊婦健康診査の受診啓発を行う。命の大切さ（妊娠管理、健診の重要性）を啓発する取り組みを行う。	妊婦健康診査については、妊娠が発覚した時点で保健師が対象者と関わり、その必要性を話しています。また、命の大切さを啓発する取り組みとして、中学2年生を対象にした命の授業（性教育）を産婦人科医師を講師に開催しました。 受講生徒 455名 東員町 200名
10	医療	広域防災事業	消防防災体制充実・強化のため、三重県防災ヘリコプターの円滑な運行管理に必要な運営協議会負担金を支出する。	山岳救助活動の出動回数 1回 事故等の救助の出動回数 0回
11	医療	防災施設管理事業	平成26年度に整備したヘリポートの維持管理を行う。	医療搬送のための着陸 4回
12	福祉	在宅医療・介護連携推進事業	地域包括ケアシステム構築に向けた在宅医療と介護連携について検討を行う。多職種（医療・介護・福祉）の連携推進を図るため、顔の見える関係づくりから研修を行う。	多職種の連携推進を図るため、顔の見える関係づくりを実施しました。 ・いなべ在宅医療多職種連携推進協議会 2回 ・いなべ在宅医療介護連携研究会 4回 390人の参加 ・在宅医療市民講演会 1回 102人 ・員弁地区在宅医療・介護資源リスト作成
13	福祉	員弁地区介護認定審査会共同設置事業	介護保険法第14条に規定する介護認定審査会を共同で設置・運営する。	員弁地区介護認定審査会 ・開催回数 92回 ・要介護認定件数 3,294件 （いなべ市 2,347件・東員町 947件）

平成27年度事業評価	実施主体	事業費（単位：千円）						特定財源
		実績額（単位：千円）						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
いなべ総合病院24時間体制を確保し、休日夜間における急患診療体制を維持することができました。	いなべ市	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	200,000	
		38,452					38,452	
	東員町	9,842	9,842	9,842	9,842	9,842	49,210	
		9,464					9,464	
圏域において出産取扱医療機関の体制が継続できました。	いなべ市	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	9,000	産科医確保 支援事業 補助金
		552					552	
医療従事者が働きやすい環境を整えたことで研修医2名の確保ができました。	いなべ市	12,150	12,150	12,150	12,150	12,150	60,750	特別交付税 (病診連携)
		5,285					5,285	
研修医として医師確保ができました。	いなべ市							
		2,880					2,880	
医療関係者のみならず、市民に分かりやすい内容で取り組むことによりたくさんの方に受講していただくことができました。	いなべ市	300	300	300	300	300	1,500	
		300					300	
圏域の中核病院と連携の下、民間診療所が交替して行う休日診療体制を維持することができました。	いなべ市	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	12,500	特別交付税 (病診連携)
		2,054					2,054	
	東員町	1,152	1,152	1,152	1,152	1,152	5,760	
		1,144					1,144	
いなべ総合病院に対する支援を実施することで、病院群輪番制運営事業体制を維持することができました。	いなべ市	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
		1,338					1,338	
	東員町	759	759	759	759	759	3,795	
		746					746	
適正受診の啓発を実施したことによって中核病院の時間外受診患者数の減少を図ることができました。	いなべ市	0	0	0	0	0	0	
		0					0	
	東員町	146	146	146	146	146	730	
		0					0	
妊婦健康診査の受診の大切さを周知、啓発したことにより、多くの対象者に受診していただくことができました。	いなべ市	100	100	100	100	100	500	
		100					100	
	東員町	138	138	138	138	138	690	
		136					136	
防災ヘリコプターの活用により、負傷者や急病人を安全かつ迅速に救助することができました。	いなべ市	10,700	10,700	10,700	10,700	10,700	53,500	
		3,189					3,189	
	東員町	960	960	960	960	960	4,800	
		960					960	
ヘリポートの整備により、いなべ総合病院へヘリコプタを活用した緊急搬送が可能となり、救命救急体制がより一層充実しました。	いなべ市	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	
		453					453	
多職種連携を図るため、研究会4回・研修会1回を開催し「顔の見える関係づくり・仕事の見える関係づくり」を実施しました。昨年に続き多くの多職種の参加を得ることができ連携を深めることができました。	いなべ市	760	760	760	760	760	3,800	地域支援事業 交付金
		677					677	
	東員町	560	560	560	560	560	2,800	
		143					143	
5合議体25名の認定審査会委員体制で員弁地区介護認定審査会を共同で実施し、公正かつ適切な審査を実施することができました。	いなべ市	10,642	10,642	10,642	10,642	10,642	53,210	
		13,014					13,014	
	東員町	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000	
		5,275					5,275	



No.	分野	事業名	事業概要	平成27年度事業実績
14	福祉	家族介護支援事業	在宅で高齢者等を介護している家族介護者等に対して、交流会や相談会などを実施する。在宅家族介護者の会の活動がより円滑になるよう支援する。	在宅で高齢者等を介護している家族介護者等を支援するため、いなべ市では家族介護者同士の情報交換や心身リフレッシュを図る「介護者のつどい」5回開催し、149人の参加がありました。東員町では、適切な介護知識や技術を習得する「家族介護教室」を2回開催し、延べ16人の参加がありました。また、介護者同士の情報交換や相互の交流を図る「リフレッシュ事業」も4回開催し、延べ29人の参加がありました。今年度は、大台町の介護者とも交流を図りました。
15	福祉	障害者介護給付費等支給審査会共同設置事業	障害者総合支援法第15条に規定する障害者介護給付費等の支給に関する審査会を共同で設置・運営する。	員弁地区障害者介護給付費等支給審査会 審査判定件数 144人 いなべ市 98人 東員町 46人
16	福祉	障害者通所施設重度障害者加算事業	対象施設に対して運営助成として補助金を交付する。	障害者通所施設重度障害者加算 事業所数 4件 (いなべ市 2件、東員町 2件) 交付者数 17人 (いなべ市 10人、東員町 5人)
17	福祉	障害者通所施設医療的ケア支援事業	対象施設に通所する障がい者のうち、医療的ケアを必要とする障がい者に対して当該施設が看護師を雇用した経費の一部を補助する。	医療的ケア支援事業利用者数 いなべ市 4人 (1事業所) 東員町 3人 (1事業所)
18	福祉	手話通訳者等派遣事業	聴覚に障がいのある方が、日常生活または、社会生活等におけるコミュニケーションを円滑に行えるように手話通訳者及び要約筆記奉仕員を派遣する。	手話通訳者等派遣件数 手話通訳者派遣件数 163件 いなべ市 91件、東員町 58件、その他 14件 要約筆記奉仕員派遣件数 6件 いなべ市 3件、東員町 2件、その他1件
19	福祉	手話奉仕員養成事業	手話言語法(仮称)制定を求める声が高まり、日常生活等におけるコミュニケーションの円滑化のため、手話通訳者等派遣業務の必要性も高くなると予想されます。手話奉仕員を養成し、派遣業務の安定した運営を図る。	手話奉仕員養成講座 入門18講座 27.5時間、復習3時間、講義4.5時間 基礎22講座 33時間、復習7.5時間、講義4.5時間 いなべ市 22人、東員町 8人
20	福祉	障がい児子育て支援事業	障がいのある児童(困り感のある児童を含む。)の保護者の交流(サークルなど)を通して、保護者の育児への悩みや不安を解消することで、育児ストレスの軽減を図り、障がい児の子育て支援を行う。	障がいのある児童の保護者を対象に地域での子育て支援実施 ・保護者サークル情報交換会 48回開催 延べ217人 ・言語聴覚士、心理カウンセラーなどの専門職相談会 56回開催 延べ284人 ・講演会 6回開催 延べ116人
21	教育	不登校児童・生徒対策事業	いなべ市教育支援センターを設置・運営し、心理的・情緒的な理由によって不登校状態にある児童生徒が学校復帰できるよう児童生徒、保護者及び学校を支援する。	教育支援センター相談件数等 ・電話相談 496件 (いなべ市319件 東員町165件 その他12件) ・面接相談(来訪) 969件 (いなべ市504件 東員町463件 その他2件) ・学校訪問 119回 (いなべ市74回 東員町45回)
22	教育	学援隊事業	各校のボランティアを「いなべ学援隊」として編成し、市内全ての小中学校で、教育活動への支援や学校環境の整備、登下校の安全確保など、学校を多方面から応援するシステムを構築することで、地域のかで学校を支える体制づくりを行う。	平成27年度、登録者数は1,594人。 学校が必要とする支援を中心に、登下校の見守り、花壇の手入れ、校内外の清掃、簡単な施設修繕、ゲストティーチャー、読み聞かせや英会話などの支援をいただきました。
23	教育	未来いなべ科事業	生まれ育った故郷に誇りを持ち、いなべを大切にすることを育む地域学習を推進する。	地域の人、自然、歴史、文化、産業、福祉、環境等いなべ市の教育資源を教材にして、子どもたちが主体的に体験活動や問題解決学習を行う総合学習を進めている。また、総合学習をベースにした「未来いなべ科のカリキュラム」を学校ごとに作成しました。
24	教育	教育相談・巡回相談事業	専門家による教育相談・巡回相談等の充実を図るとともに、外部関係機関との連携・協働により、学校支援を進める。	【いなべ市】 巡回相談日数 26日(巡回訪問校 小学校29校、中学校5校) 教育相談日数 7日(相談者13名) 研修会等講師要請 8回  【東員町】 巡回相談日数 22日(相談者 幼保31名、小学校49名、中学校8名) 教育相談日数 18日(相談者 幼保2名、小学校77名、中学校7名) 研修会等開催 3回

平成27年度事業評価	実施主体	事業費（単位：千円）						特定財源
		実績額（単位：千円）						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
在宅介護に役立ててもらおう、介護者教室など、さまざま講演会を開催したことにより、家族介護者が必要な介護の知識・技術の習得をしていただきました。また介護者相互の交流会を行い心身のリフレッシュが行えました。	いなべ市	100	100	100	100	100	500	地域支援事業 交付金
		97					97	
	東員町	200	200	200	200	200	1,000	
		159					159	
審査会をいなべ市と東員町で共同設置し、委員10名を選任して1合議体5名の2合議体体制とし、毎月1回1合議体で開催し、公平かつ適正な審査を実施することができました。	いなべ市	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	21,500	障害者地域 生活支援事業 補助金
		2,758					2,758	
	東員町	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000	
		957					957	
重度障がい者の社会参加の促進及び福祉の向上のため、対象施設に対して適正な支援を行うことにより障害福祉サービスを行う施設の円滑な運営を図ることができました。	いなべ市	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	
		972					972	
	東員町	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500	
		1,640					1,640	
看護師の費用を補助することで、保護者の付き添い介護の負担を軽減することができました。	いなべ市	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	10,500	
		1,990					1,990	
	東員町	400	400	400	400	400	2,000	
		241					241	
手話通訳者及び要約筆記奉仕員を派遣することにより、聴覚障がい者とのコミュニケーションを円滑に行うことができました。	いなべ市	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	16,000	障害者地域 生活支援事業 補助金
		1,944					1,944	
	東員町	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000	
		1,239					1,239	
手話奉仕員を養成することにより、派遣業務の安定した運営が図られるとともに、手話によるコミュニケーションの必要性・重要性を広く周知しました。	いなべ市	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	障害者地域 生活支援事業 補助金
		977					977	
	東員町	700	700	700	700	700	3,500	
		560					560	
障がいのある児童の保護者の交流や活動、学習を通じて、保護者の悩みや不安を解消し、育児ストレスを軽減することができました。	いなべ市	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000	
		2,904					2,904	
不登校、いじめ、問題行動、集団への不応など様々な課題を抱えている子どもや特別な支援を必要とする子どもへの支援の方法がわからず悩んでいる保護者・教職員への支援をすることができました。	いなべ市	2,264	2,264	2,264	2,264	2,264	11,320	
		1,392					1,392	
	東員町	661	564	652	639	626	3,142	
		677					677	
学校のニーズと地域の力を調整し、保護者や地域の方々による体験活動や農園活動など、豊かな学習活動の展開と拡大が見られました。地域の方々や児童生徒と関わることにより、学校と地域の相互理解や信頼関係の構築が進みました。教職員が担いきれない業務や専門外の業務について支援いただくことで、教職員が教育活動に専念する時間や、子どもとふれあう時間の確保につながりました。	いなべ市	669	669	669	669	669	3,345	
		207					207	
平成29年度の本格実施に向けて、土台作りが進みました。	いなべ市	9,294	9,294	9,294	9,294	9,294	46,470	
		8,364					8,364	
学習や集団行動等に困難を抱える児童生徒への指導・支援の在り方や校内支援体制の構築等について、学校心理士及び特別支援教育士がアドバイスを行うとともに、保護者支援を行うことができました。	いなべ市	5,091	5,091	5,091	5,091	5,091	25,455	
		3,900					3,900	
	東員町	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120	5,600	
		1,680					1,680	

No.	分野	事業名	事業概要	平成27年度事業実績
25	土地利用	都市計画推進事務	都市計画法第34条第11号に規定する指定区域内での開発許可についてホームページなどで情報発信を行うとともに、窓口における相談業務を迅速に行う。	都市計画法許可件数（いなべ市） 一戸建て住宅の新築許可 9件 土地分譲の許可（17区画と5区画） 2件 （東員町） 3件 10件（57区画）
26	産業振興	経営体等育成支援事業	各集落において「集落協定書」又は「人・農地プラン」を策定して、耕作者及び農地所有者の役割分担を定め、効率的で安定的な農業生産活動ができる取組に対して支援する。	「集落協定書」「人・農地プラン」により合意した、農地集積活動・環境保全型栽培活動・集落農地保全活動などの農業生産活動に対して市単独で補助をしました。
27	産業振興	喜び農業推進事業	町単独事業として、付加価値のある作物を栽培することにより、地域農業の活性化及び農業所得の向上を図り、生産者にとって稼ぐことができる農業、喜びのある農業の構築を目指します。実証圃場での検証を行い、新たに参画していただける農業者とともに、果樹産地となるよう栽培面積を増やし、農業者の定住に繋げる。	実証圃場において、平成26年12月に果樹（ぶどう・ブルーベリー）を定植し、検証を開始。 ・ぶどう：5品種 各 2株 計10本 ・ブルーベリー：5品種 各10株 計50本 ぶどう栽培ではビニールハウスを設置し、ブルーベリー栽培では液肥栽培システムによるポット栽培を継続して実施しています。
28	産業振興	地産地消推進事業	そば祭り実行委員会への委託により、蕎麦によるまちづくりを推進する。	11月8日に開催した「そば祭り」では、6,000人の集客があり、「いなべの里の蕎麦」の宣伝が行えました。
29	産業振興	中心市街地活性化事業	歴史的街並みの活性化により交流人口増加を促進するため、専門知識、経験者及び実績を有している外部人材を活用して調査、計画コーディネート等を行う。	阿下喜地区内で下記を実施しました。 ・空き店舗対策事業の発展的継続化 ・ワークショップ等の開催、交渉など ・スキームづくりのための調査研究等、まとめ ・「阿下喜を熱く語る会」起業・創業者の集まり等へのアドバイス
30	産業振興	観光客受入施設管理事業	魅力ある観光地づくりを推進するため、観光施設の維持管理、観光組織への支援などを行う。 【東員町】 転作農地を有効活用し、観光資源の副次的効果を狙い、田園アメニティの向上及び町のイメージアップ、地域活性化を図ります。	【いなべ市】 観光施設維持管理 修繕：宇賀溪WC電灯・屋根塗装修繕 委託：地元森林組合による遊歩道保全、観光用駐車場トイレ維持管理、登山道道標設置箇所調査 補助：宇賀溪観光協会他4団体 【東員町】 景観形成作物栽培事業（コスモス畑） 作付面積：3.3ha 作付場所：東員町大字山田・鳥取地内 委託先：東員町農業振興部会へ委託 （町内の認定農業者等が会員） 作業内容：8月～12月上旬までの期間 ・圃場の整備（肥料散布、耕起、草刈り） ・播種作業（覆土作業含む） ・コスモス掃除作業（コスモスチョッパー） ・圃場の整備（草刈り、耕起、畦塗り） 中部公園維持管理事業 委託先：（一社）東員町観光協会、シルバー人材センター等 作業内容：管理等管理、管理（巡回管理）、便所清掃管理 等
31	産業振興	観光資源開発発信事業	三重の観光営業拠点事業による誘客のための旅行商品の開発を行う。	◎会員市町のニーズや伊勢志摩サミット開催の好機を捉え新たな展開として、三交パルク、生協・ヤフトラベルにて「いなべ梅祭り」「いなべの茶っぶりん」「いなべ市内の昼食」を組み込んだツアーを設定 設定日3/11、12、13、15、16、18、20、4/29、5/4 うち集客実績（三交パルク）3/11：42名、3/12：41名 計83名 ◎三重の「食」と「観光」を連動させた展開として、桜通りカフェオリジナルの「茶っぶりん」の「ほうじ茶フランマンシェ」を開発。桜通りカフェHP、FBで発信、中日新聞名古屋市民版で告知（1/9掲載）「いなべの茶っぶりん」を三重県フェア（1/13～31）期間中のランチにセット：販売実績850食。 誘客施策とし、現地で引換できる「茶っぶりん」の引換券（いなべ観光パンフレットとセット）を無料提供。
32	産業振興	文化財保護事業	指定文化財等の適切な保存と活用を図るため、伝統芸能などの無形民俗文化財についても、文化財の保持団体等の保存伝承活動を支援する。	いなべ市文化財保護事業費補助金交付件数 ・有形民俗文化財保存伝承事業 「坂本曳山車」ほか7件、計8件 東員町文化財保存団体補助金件数 ・県指定無形民俗文化財「猪名部神社上げ馬神事」 ・町指定無形民俗文化財「六把野獅子舞」 計2件

平成27年度事業評価	実施主体	事業費（単位：千円）						特定財源
		実績額（単位：千円）						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
12件の都市計画法の許可により土地利用計画にあった土地利用が図れました。	いなべ市	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	11,000	
		115					115	
	東員町	140	140	140	140	140	700	
		70					70	
持続性のある効率的で安定的な農業生産活動が実施できました。	いなべ市	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	82,500	
		13,200					13,200	
	東員町	0	0	0	0	0	0	
		0					0	
新たな地域の魅力づくりとして実証圃場において果樹栽培を行いました。	東員町	4,496	1,086	605	605	605	7,397	
		4,185					4,185	
名古屋圏を重点的にPRした結果、800台近くの名古屋ナンバーの来場がありました。	いなべ市	20,000	8,000	8,000	8,000	8,000	52,000	特別交付税
		8,808					8,808	
空き店舗対策により1店舗を開店することができました。今後の空き店舗再生モデルとなることができました。また、中心市街地を活性化する話し合いが定期的に行われ、町おこしイベント「阿下喜 秋の市」が継続的に開催されるなど、地域の活性化に向けて取り組みが進められました。	いなべ市	11,000					11,000	
		6,480					6,480	
【いなべ市】 経常的な維持管理修繕の他、安全な登山のため、登山道標設置箇所調査業務委託を実施し、これにより次年度以降の整備につなげることが期待できます。	いなべ市	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	110,000	
		4,552					4,552	
【東員町】 近年、町内はもとより、町外からも多くの人々が訪れるようになり、町のイメージアップ効果が高まっています。	東員町	40,439	40,439	40,439	40,439	40,439	202,195	
		36,132					36,132	
いなべ市に誘客するプランに沿った実績は得ることができなかったが、「桜通りカフェ」等を通じた中京圏におけるプロモーション活動はできました。	いなべ市	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
		1,200					1,200	
伝承文化の継続に必要な財政的支援を行い、各地域で例年実施される祭礼や神事が絶えることなく執り行われました。	いなべ市	180	180	180	180	180	900	特別交付税
		1,214					1,214	
	東員町	851	851	851	851	851	4,255	
		941					941	

No.	分野	事業名	事業概要	平成27年度事業実績
33	産業振興	企業誘致推進事務	新規企業の誘致に向けた企業訪問や、円滑な企業活動に資するため、市内インフラ整備について側面からサポートを行う。	員弁土地開発公社と連携し企業訪問や既存企業の拡張サポートを行いました。 新規誘致1件、既存企業拡張2件
34	防災	常備消防事業	圏域住民の生命・財産を守るため、火災の消火・予防活動、救急搬送等の業務を桑名市に委託する。	火災出動 22回 救急搬送 1561回
35	防災	消防団事業	圏域住民の生命・財産を守るため、地元企業や自治会等と連携して、地域消防団の団員を確保する。	消防団協力事業所 25社
36	防災	消防団研修訓練事業	圏域住民の生命・財産を守るため、地元企業や自治会等と連携して、地域消防団の団員を確保する。	自治会と消防団の連携による防災及び初期消火訓練を実施 初期消火訓練 3件 事業所への周知、協力活動を実施 広報掲載 1回 事業所への協力活動 2回
37	防災	自主防災活動事業	自主防災組織が活発に活動を行えるように防災訓練の指導や資機材整備補助等の支援を行うことにより、自主防災組織による地域防災力の充実を図る。	自治会防災訓練の指導及び講演 10件 自治会への資材整備補助 5件
生活機能の強化に係る政策分野				計37事業

## 2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

No.	分野	事業名	事業概要	平成27年度事業実績
38	地域公共交通	福祉バス事業	鉄道・路線バスとの連携や、病院・商業施設への生活交通として、市内12路線で無料運行、定時定路線運行を行う。	シルバー人材センターへ北勢4ルート・員弁2ルート・藤原3ルート及び三岐鉄道株式会社へ大安3ルートを運行委託しました。 マイクロバス1台更新し、大安ルートへ配備しました。 年間利用者数104,617人
39	地域公共交通	コミュニティバス事業	町内に朝夕便、昼便の5路線を設定し、朝夕便は通勤、通学の利用を基本に鉄道駅へ直行する2路線で運行、昼便は病院や買い物利用を基本に東員駅を中心とした3路線で運行する。	町内に朝夕便、昼便の5路線を設定し、朝夕便は通勤、通学の利用を基本に鉄道駅へ直行する2路線で運行、昼便は病院や買い物利用を基本に東員駅を中心とした3路線で運行しました。 平成27年6月25日には、延べ乗車人員100万人に到達しました。 年間利用者数115,612人
40	地域公共交通	三岐鉄道支援事業	三岐鉄道北勢線は営業赤字が継続しており、安定運行のため、三岐鉄道に対して支援を行う。 利用促進事業等を実施している北勢線事業運営協議会へ負担金を支出する。 三岐鉄道三岐線の安全運行のため、国の地域公共交通確保維持改善事業にかかる設備等整備事業に対し、補助金を交付する。	【いなべ市】 北勢線事業運営維持費補助金 70,726,000円 北勢線事業運営協議会負担金 958,000円 三岐線地域公共交通確保維持改善事業費補助金 12,000,000円 三岐線鉄道施設安全対策事業費補助金 1,496,000円 北勢線年間利用者数 2,544,374人 【東員町】 北勢線事業運営維持費補助金 47,195,000円 北勢線事業運営協議会負担金 603,000円 三岐線地域公共交通確保維持改善事業費補助金 3,000,000円 三岐線鉄道施設安全対策事業費補助金 374,000円
41	地域公共交通	駐輪場・駐車場管理事業	三岐鉄道北勢線各駅における駐輪場と駐車場の修繕等の管理を行う。 (穴太駅、東員駅、大泉駅、楚原駅、麻生田駅、阿下喜駅)	北勢線各駅の利用台数(利用延べ台数) ・阿下喜駅 3,100台 ・麻生田駅 4,200台 ・楚原駅 3,900台 ・大泉駅 22,500台 ・東員駅 18,600台 ・穴太駅 9,300台

平成27年度事業評価	実施主体	事業費（単位：千円）						特定財源
		実績額（単位：千円）						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
市や会社が保有する土地を企業用地として有効に利用することができました。	いなべ市	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	宝くじ収益分配分
		85,000					85,000	
消防署の設置により、火災の緊急通報から迅速な消火活動を行うことができ、火災被害を最小限に抑えることができました。 また、救急の緊急通報から迅速かつ的確に対応した救急活動を行い、医療機関に救急搬送を行うことができました。	いなべ市	546,500	546,500	546,500	546,500	546,500	2,732,500	
		565,333					565,333	
	東員町	278,000	278,000	278,000	278,000	278,000	1,390,000	
		298,706					298,706	
消防団協力事業所制度を推進するために、従業員の消防団活動への便宜や入団促進の協力を得る企業訪問を行いました。消防団活動への協力が企業の社会貢献につながることを認識を深めていただくとともに、消防団活動への一層の理解と協力を得ることができました。 また、自治会へ消防団活動及び消防団員募集の協力依頼を行い、団員確保の協力体制ができました。	いなべ市	58,000	61,000	58,000	58,000	58,000	293,000	
		55,794					55,794	
	東員町	11,693	11,693	11,693	11,693	11,693	58,465	
		11,407					11,407	
地域住民と消防団が連携して初期消火の訓練を実施することで、初期消火の技術向上につながるのと同時に、地域住民に消防団活動に対する理解を深めることができました。	いなべ市	23,700	23,700	23,700	23,700	23,700	118,500	
		22,264					22,264	
	東員町	2,962	2,962	2,962	2,962	2,962	14,810	
		2,906					2,906	
自治会防災訓の指導及び講演並びに資材整備補助を実施することで、自主防災組織の育成及び地域防災力の向上につながりました。	いなべ市	5,700	5,700	5,700	5,700	5,700	28,500	
		1,541					1,541	
	東員町	8,251	8,251	8,251	8,251	8,251	41,255	
		2,279					2,279	
		1,194,120	1,170,613	1,167,220	1,167,207	1,167,194	5,866,354	
		1,240,947	0	0	0	0	1,240,947	

平成27年度事業評価	実施主体	事業費（単位：千円）						特定財源
		実績額（単位：千円）						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
昨年度の利用者数99,888人と比較して4,729人（4.7%）増となりました。	いなべ市	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	400,000	特別交付税
		89,897					89,897	
昨年度の利用者数125,713人と比較すると約8%の減少となりました。平成26年度は、平成25年11月のイオンモール東員の開店の効果もあり、オレンジバス運行以来、最高の実績となったためであり、平成25年度以前と比較すると依然として高い数値となっています。	東員町	60,475	60,475	60,475	60,475	60,475	302,375	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 特別交付税
		60,475					60,475	
北勢線の昨年度の利用者数2,438,911人と比較して105,463人（4.3%）増となりました。 経営状況は依然として厳しい状況が続いていますが、利用促進事業等により、運行支援後13年間で最高の利用者となりました。	いなべ市	87,000	12,000	12,000	12,000	12,000	135,000	特別交付税
		85,180					85,180	
	東員町	50,500	3,000	3,000	3,000	3,000	62,500	
		51,172					51,172	
北勢線の各駅の駐車場・駐輪場を維持管理し、利用しやすい駅とする事ができました。	いなべ市	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500	
		1,335					1,335	
	東員町	327	327	327	327	327	1,635	
		0					0	

No.	分野	事業名	事業概要	平成27年度事業実績
42	道路等の交通インフラ	市道西方上笠田線自歩道設置事業	位置：員弁町西方・北金井地内 (大泉公民館前交差点～県立いなべ総合学園高等学校) 延長：1,700m 幅員：7.0m (歩道3.5m)	平成27年度は市道西方上笠田線自歩道設置工事(第1工区)(施工延長L=222m)及び市道西方上笠田線自歩道設置工事(第2工区)(施工延長L=100m)を実施しました。
43	道路等の交通インフラ	市道大安東部線自歩道設置事業	位置：大安町大井田・高柳地内 (門前桑名線交差点～イオン大安店) 延長：2,900m 幅員7.0m (歩道2.5m)	平成27年度は市道大安東部線自歩道設置工事(施工延長L=200m)を実施し繰越にて対応しました。
44	道路等の交通インフラ	市道笠田新田坂東新田線道路改良事業	位置：員弁町市之原・笠田新田地内 (トヨタ車体㈱～東海環状自動車道大安IC) 延長：1,850m 幅員：10m (車道6.0m、歩道2.5m、路肩0.75m)	平成27年度は市道笠田新田坂東新田線道路改良工事(第27工区)(施工延長L=296m、補強土壁工A=43㎡、ボックスカルバート工L=13m)を実施し繰越にて対応しました。
45	道路等の交通インフラ	市道江丸線路肩整備事業	位置：大安町大井田・門前地内 (大安駅～笠間保育園) 延長：820m 幅員：6.0m (車道：5.0m、路肩：0.5m)	平成27年度は用地買収A=717㎡を実施しました。
46	道路等の交通インフラ	笹尾幹線1号線歩道補修事業	位置：東員町笹尾地内 (国道421号～国道421号) 延長：2,400m (4,800m) 幅員：歩道2.0m	平成27年度は笹尾幹線1号線歩道補修工事約1,988mを実施しました。
47	道路等の交通インフラ	路面性状事業	町道1・2級路線の舗装補修を計画的に実施する。	平成27年度は長深東西線舗装補修工事約425mを実施しました。
48	道路等の交通インフラ	主要地方道四日市・員弁線整備促進事業	県道四日市・員弁線の下記の事業が早期に整備されるよう取り組む。 位置：大安町大井田地内～員弁町大泉新田(国道365号線～国道421号線) 延長：2,000m 幅員：9.5m (歩道3.5m) 橋梁1基	平成27年度は主要地方道四日市・員弁線道路改良工事(施工延長L=387m)を実施しました。
49	道路等の交通インフラ	国道421号整備促進事業	国道421号の下記の事業が早期に整備されるよう取り組む。 位置：東員町鳥取・大木地内 鳥取地内 交差点改良 大木地内 延長：2,295m 幅員：12.5m (歩道2.0m×2)	平成27年度は測試及び用地買収を実施しました。
50	道路等の交通インフラ	東海環状自動車道整備促進事業	東海環状自動車道の整備促進のため、通過市町と連携しながら、国・県や関係機関に要望を行うなど早期開通に向けた取り組みを行う。	東海環状自動車道の整備促進のため、通過市町と連携しながら、国県等関係機関への早期開通に向けた働きかけを行い、要望活動及び提言活動を実施、沿線市町の交流として、MAG-CUP少年サッカー交流活動に参加しました。
51	地域内外の住民との交流・移住促進	空き家住宅活用事業	売却や賃貸を希望する空き家(空き地)の所有者から申し込みを受けた情報をホームページなどで公開し、所有者と、市内で定住や交流などを目的として空き家(空き地)の購入や賃借を希望する方を結びつける。	広報誌、ホームページにて掲載を実施。また、三重県宅地建物取引業協会と密な連携をとり事業を進めた。 空き家バンク登録4件、空き家バンク利用1件(いなべ市) 空き家バンク登録4件、空き家バンク利用1件(東員町)
52	地域内外の住民との交流・移住促進	グリーンツーリズム推進事業	空き家や未利用施設などを活用し、来訪客に宿泊や農林業体験を提供する。	(1)いなべグリーン・ツーリズム推進委員会の開催(3回) (2)大学と連携した地域活動 ・京都産業大学…学生が地域を6回訪問(延べ72名)。今年度は、地域に溶け込むために交流イベントを開催(参加者延べ100名程度)。 ・四日市大学…8日間にわたり地域内で学生が合宿し、地域資源や獣害の調査を行った。また、教授が中心となりドローンでの空撮や、地域資源を巡るモニターツアーを開催しました。 (3)地域資源を活かした体験メニューの企画立案
53	地域内外の住民との交流・移住促進	グリーンクリエイティブいなべ推進事業	全国に誇れるいなべ市の事業を冊子やホームページなどで紹介し発信する。	(1)PRイベントの開催 ・いなべ市フェアin桜通りカフェ(名古屋) ・いなべ市フェアinあべのハルカス(大阪) ・日本のまんなか♡いなべ市フェスタ(市内) ・モンベルフレンドフェアinインテックス大阪(大阪) ・図書館祭りfeat.はしもとみお(市内) ・いなべ市フェアin三重テラス(東京) (2)facebookページ「いなべ市フェア」運営 (3)いなべ市応援隊「いなべサポ」制度の構築 (4)いなべブランド冊子2015の作成

平成27年度事業評価	実施主体	事業費（単位：千円）						特定財源
		実績額（単位：千円）						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
平成33年度開通に向け計画通り実施することができました。	いなべ市	80,000	99,000				179,000	防災・安全 交付金
		92,636					92,636	
平成29年度開通に向け計画通り実施することができました。	いなべ市	100,000	74,000				174,000	防災・安全 交付金
		49,332					49,332	
平成30年度開通に向け計画通り実施することができました。	いなべ市	40,000	105,000	150,000	65,000		360,000	社会資本整備 総合交付金
		16,400					16,400	
平成30年度開通に向け計画通り実施することができました。	いなべ市	20,000	35,100	14,900			70,000	防災・安全 交付金
		6,093					6,093	
平成31年度完了に向け計画通り取り組むことができました。	東員町	40,000	37,200				77,200	社会資本整備 総合交付金
		35,830					35,830	
平成31年度完了に向け計画通り取り組むことができました。	東員町	73,000	73,000	73,000	73,000	73,000	365,000	社会資本整備 総合交付金
		28,874					28,874	
市道大安東部線から市道西方上笠田線までを平成32年度完成に向け計画通り取り組むことができました。	いなべ市	0	0	0	0	0	0	
		0					0	
計画通り取り組むことができました。	東員町	0	0	0	0	0	0	
		0					0	
東海環状自動車道の整備促進のため、通過市町と連携しながら、国県等関係機関への早期開通に向けた働きかけを行い、要望活動及び提言活動を実施し、沿線市町の交流として、MAG-CUP少年サッカー交流活動に参加しました。	いなべ市	650	650	650	650	650	3,250	
		530					530	
	東員町	100	100	100	100	100	500	
		100					100	
啓発に関しては、あまり効果がありませんでした。今後は、空き家の実態調査を行い進めていきます。	いなべ市	300	300	300	300	300	1,500	
		0					0	
	東員町	0	0	0	100	0	100	
		0					0	
大学生の刺激により活動が活発化してきました。地域の意識も前向きになり、来年度から実際に体験メニューを実施することとなり、地域資源の調査やニーズを把握するためのアンケートも実施。来年度開催に向け調整しています。	いなべ市	5,000	5,000	2,000	2,000	1,000	15,000	
		4,823					4,823	
若手職員が企画・運営し、いなべのPRイベントを各地で開催。不特定多数への一方的な発信ではなく、ターゲットを絞って行うことができました。その他にいなべのファンを増やすことができ地域内外の住民との交流を進めることができました。	いなべ市	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	75,000	
		5,976					5,976	



No.	分野	事業名	事業概要	平成27年度事業実績
54	地域内外の住民との交流・移住促進	元気づくりシステム全国発信事業	いなべブランドのトップランナーである「元気づくりシステム」を産学官民の協働により全国へ発信し、普及を進める。	(1)元気づくりシステム事業のブラッシュアップ (2)全国自治体での元気づくりシステムの導入及び普及に向けた取組 ・元気な地域づくりを考える首長研究会の開催を年4回実施。 ・元気づくりシステム全国普及及びシンポジウムin福島県伊達市（H27.8月開催。21団体、64名参加） ・元気づくりシステム全国普及及びシンポジウムin北広島町（H27.10月開催。30団体、82名参加） ・合計、93団体225名が研究会・シンポジウム等へ参加しました。 (3)その他 ・Smart Wellness City首長研究会、構想日本、日本離島センター、全国小さくても輝く自治体フォーラム、がんばろう日本国民協議会でのPR ・厚生労働省でのPR ・6市町村へ訪問し、元気づくりシステムを紹介 ・全1,663自治体中、1,320自治体へPR資料を送付。
55	地域内外の住民との交流・移住促進	情報誌発行事業	圏域内の行政情報やイベント情報などを、行政区域を越えてそれぞれの市町の広報紙に掲載する。	【いなべ市】 単なるお知らせとしてではなく、市民の誇りや絆の醸成、いなべの魅力やブランド力の発信を目指し年間12冊発行しました。 （12,600部×12ヶ月） 平成27年度三重県広報コンクールにおいて、広報誌、組写真、映像の3部門で特選（最高位）を受賞しました。内、組写真部門は全国広報コンクールで入選を果しました。 【東員町】 広報誌は、毎月第1金曜日に町の政策や施策、各種催し物の案内や結果を掲載しました。 ・平成27年度発行部数 103,200部
56	地域内外の住民との交流・移住促進	ホームページ事業	圏域内の行政情報やイベント情報などを、行政区域を越えてそれぞれの市町のホームページに掲載する。また、メール配信やSNSなどによる情報発信についても検討する。	【いなべ市】 平成28年度末ホームページ全面リニューアルに向け、平成27年度は基本設計を行いました。現行のホームページについては市政情報の掲載や各種手続きの掲載、発信を行いました。 ・総アクセス数 月平均19.9万件 ・トップページアクセス数 月平均3.3万件 【東員町】 町の行事、お知らせ等を最新の情報として提供するため、ホームページ及び行政情報メール配信サービスによる情報発信を行いました。また、ソーシャルメディアを利用した情報発信にも取り組んでいます。 ・ホームページアクセス数 月平均2.2万件 ・メール配信サービス登録数 2,592件
57	地域内外の住民との交流・移住促進	公共施設相互利用促進事業	圏域内の体育・文化施設の行政区域を越えた相互の利用を行う。	インターネットを利用して体育・文化施設の空き状況照会や仮予約を申請できるシステムを稼働しています。 ・総アクセス数 7.3万件 ・施設空き状況照会数 1.4万件 ・仮予約申請数 159件 今後の相互利用を見据えて、いなべ市に合わせた野球場（中央・城山球場）の使用料及び利用時間等の改正を行いました。 平成28年4月1日 施行
結びつきやネットワークの強化に係る政策分野				計20事業

### 3 圏域マネジメントの強化に係る政策分野

No.	分野	事業名	事業概要	平成27年度事業実績
58	人材育成	職員資質向上事業	職員の資質を向上させるため、いなべ市及び東員町の職員を対象に、法制執務研修や各専門分野で活躍している方から、専門分野における最新情報、業界のトレンド、マネジメント技術を学ぶ研修などを実施する。	両自治体職員の共通課題に対応した研修を平成22年度から両自治体で実施しています。 平成27年度は、政策立案に不可欠な法制執務能力の向上を図るため、条例制定上の考え方や、政策を実現するための法制度の理解を深める政策法務研修（受講：両市町11名）などの研修を開催しました。
59	人材育成	教育研究所事業	教育課題の研究、調査・統計資料作成、交流研修会、研修講座などを実施する。	教職員・保護者の研修講座及び講演会 ・講座・研修会 26回開催 ・参加者総数 1393人

平成27年度事業評価	実施主体	事業費（単位：千円）						特定財源
		実績額（単位：千円）						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
4自治体が元気づくりシステムを導入し、それぞれの地域特性を活かした独自スタイルで運営しており、同システムの普及だけでなく定着化が成功しています。また現在、新たに4自治体が導入を検討しています。	いなべ市	3,000					3,000	特別交付税
		3,016					3,016	
圏域内の行政情報やイベント情報などを行政区域を越えてそれぞれの市町の広報紙に掲載することができませんでした。平成28年度は相互掲載に向け調整を始めます。	いなべ市	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	35,000	
		6,140					6,140	
	東員町	5,406	5,406	5,406	5,406	5,406	27,030	
		4,190					4,190	
圏域内の行政情報やイベント情報などを、行政区域を越えてそれぞれの市町のホームページに掲載することはできませんでした。平成28年度は相互掲載に向け調整を始めます。	いなべ市	15,000	1,000	1,000	1,000	1,000	19,000	
		17,408					17,408	
	東員町	1,375	1,375	1,375	1,375	1,375	6,875	
		1,840					1,840	
空き状況照会数に比べ、仮予約申請が少ない状況が続いています。より利用しやすいシステムに向け、平成28年度はシステム更新の調整を始めます。球場使用料を引き下げることにより、利用者負担の軽減を図り、利用者の利便性の向上を図ります。	いなべ市	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	12,500	
		2,500					2,500	
	東員町	1,296	1,296	1,296	1,296	1,296	6,480	
		1,296					1,296	
		689,429	620,229	431,829	332,029	265,929	2,339,445	
		565,043	0	0	0	0	565,043	

平成27年度事業評価	実施主体	事業費（単位：千円）						特定財源
		実績額（単位：千円）						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
地方分権の進展に対応した法制執務の知識を習得し、実務遂行能力の向上を図ることが出来ました。また、研修を通じた交流により、両自治体の連携強化を図ることができました。	いなべ市	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	39,500	
		6,058					6,058	
	東員町	2,578	2,578	2,578	2,578	2,578	12,890	
		0					0	
市内の実践例や県内外の先進校の事例などを取り入れながら、「主体的に学ぶ力を育む問題解決学習」及び「ICTを活用した授業づくり」の研究を進め、研修委員会で報告するとともに、紀要として各校に配布しました。「授業力アップ講座」12回、「教師力及び指導力アップ講座」9回、「スキルアップ研修講座」5回、合計26回の講座を開催した。参加者の94.6%が「大変満足、おおむね満足」という結果を得ることができました。	いなべ市	9,519	9,519	9,519	10,653	9,519	48,729	
		7,927					7,927	
	東員町	680	680	680	680	680	3,400	
		0					0	

No.	分野	事業名	事業概要	平成27年度事業実績
60	人材育成	教育研究会事業	新たな教育課題に対し、教職員が主体的に情報交換・研究活動を行う都市教育研究会活動に支援を行う。	<p>教職員の実践交流や研究活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総会 1回</li> <li>・ 代表者会 4回</li> <li>・ 健康研究会 14回</li> <li>・ 学業研究会 4回</li> <li>・ 中学校教科別部会 4回</li> <li>・ 運営委員会 18回</li> <li>・ 研修委員会 2回</li> <li>・ 事務研究会 5回</li> <li>・ 特別支援教育研究会 4回</li> </ul>
61	人材育成	市民活動センター事業	市町の市民活動拠点の機能を活用し、圏域内の市民活動団体の情報や当該団体の支援に関する情報などを共有する。ボランティアコーディネーターの育成を行い、ボランティア活動を行いやすい環境づくりをする。	<p>平成27年度からNPO法人いなべ市民クラブへ業務を委託しました。NPOの柔軟性等を活かし拠点機能の向上や団体支援などを更に充実させることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ センター利用回数1,422回（52回(3.7%)増）</li> <li>・ センター便り4回、活センニュース8回、計12回情報紙発行</li> </ul> <p>市民活動団体のレベルアップ、団体同士の交流を図る事を目的に講演会や会議を行い、いなべ市と東員町の市民活動団体が参加しました。とういんボランティア市民活動団体情報誌「えがお通信」を年3回発行し、いなべ市へ送付することで登録団体の活動状況などを広く発信し、情報を共有しました。また、いなべ市で開催された「スマイルフェスタ」への東員町の参加、東員町で開催された「わくわくフェスタ」へのいなべ市の参加を行うことで、両市町の交流を深めることができました。</p>
62	人材育成	地域人材育成事業	圏域内の企業・住民などを対象に、各専門分野で全国的に活動している方などを講師又はアドバイザーとして招き、専門分野における課題や最新の情報、業界のトレンド、マネジメント技術などを学ぶことで、地域をけん引するノウハウを身に付ける。	<p>総務省地域力創造アドバイザー等を招き、「輝く女性とまちづくりのシンポジウム」を開催し、女性の活躍をテーマに今後のまちづくりについて住民と共に考えるきっかけの場としました。</p>
圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野				計5事業


第2次旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン 事業計画 総合計62事業


平成27年度事業評価	実施主体	事業費（単位：千円）						特定財源
		実績額（単位：千円）						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
教職員自らが指導力や資質向上を目指して、実践交流や交換会等の研究会を実施することができました。	いなべ市	463	463	463	463	463	2,315	
		291					291	
	東員町	102	102	102	102	102	510	
		122					122	
情報紙の定期発行等、各団体がより積極的に活動できる環境づくりを促進することができました。	いなべ市	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000	
		10,266					10,266	
	東員町	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000	
		683					683	
約200人の来場者があり、7割の方からシンポジウムの内容について「満足」との回答が得られました。	いなべ市	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000	
		0					0	
	東員町	0	0	0	0	0	0	
		322					322	
		40,242	40,242	40,242	41,376	40,242	202,344	
		25,669	0	0	0	0	25,669	


	事業費（単位：千円）						
	実績額（単位：千円）						
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
	1,923,791	1,831,084	1,639,291	1,540,612	1,473,365	8,408,143	
1,831,659	0	0	0	0	1,831,659		


## 具体的取組 新旧対照表


第2次旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン				第2次旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン（追加案）							
政策分野	項目	主な施策	No	政策分野	項目	主な施策	No				
生活機能の強化に係る政策分野	医療	中核病院であるいなべ総合病院の機能確保	1	いなべ総合病院救急医療体制確保支援事業	医療	中核病院であるいなべ総合病院の機能確保	1	いなべ総合病院救急医療体制確保支援事業			
			2	産科医確保支援事業			2	産科医確保支援事業			
			3	医療従事者緊急確保事業			3	医療従事者緊急確保事業			
			4	医師養成奨学金事業			4	医師養成奨学金事業			
			5	いなべ総合病院医療従事者等研修啓発事業			5	いなべ総合病院医療従事者等研修啓発事業			
		6	一次救急（在宅医輪番制）体制の確保	6		一次救急医療体制確保事業	6	一次救急（在宅医輪番制）体制の確保	6	一次救急医療体制確保事業	
		7	二次救急（病院群輪番制）体制の確保	7		二次救急医療体制確保事業	7	二次救急（病院群輪番制）体制の確保	7	二次救急医療体制確保事業	
		8	適正受診等の啓発	8		適正受診等啓発事業	8	適正受診等の啓発	8	適正受診等啓発事業	
		9	妊婦健診受診等啓発事業	9		妊婦健診受診等啓発事業	9	妊婦健診受診等啓発事業	9	妊婦健診受診等啓発事業	
		10	災害対策の計画的な推進	10		広域防災事業	10	災害対策の計画的な推進	10	広域防災事業	
		11		11		防災施設管理事業	11		11	防災施設管理事業	
	福祉	地域包括ケアシステム構築の推進	介護サービスの推進	12	在宅医療・介護連携推進事業	福祉	地域包括ケアシステム構築の推進	介護サービスの推進	12	在宅医療・介護連携推進事業	
				13	員弁地区介護認定審査会共同設置事業				13	員弁地区介護認定審査会共同設置事業	
				14	家族介護支援事業				14	家族介護支援事業	
		障がい者福祉サービスの推進	15	障がい者介護給付費等支給審査会共同設置事業	障がい者福祉サービスの推進		15	障がい者介護給付費等支給審査会共同設置事業			
			16	障がい者通所施設重度障害者加算事業			16	障がい者通所施設重度障害者加算事業			
			17	障がい者通所施設医療的ケア支援事業			17	障がい者通所施設医療的ケア支援事業			
			18	手話通訳者等派遣事業			18	手話通訳者等派遣事業			
			19	手話奉仕員育成事業			19	手話奉仕員育成事業			
		20	障がい児福祉サービスの充実	20	障がい児子育て支援事業		20	障がい児福祉サービスの充実	20	障がい児子育て支援事業	
	教育	不登校などの課題に対する適切な対応	地域による学校支援の充実	21	不登校児童・生徒対策事業	教育	不登校などの課題に対する適切な対応	地域による学校支援の充実	21	子育て支援センター職員合同研修事業	
				22	学援隊事業				22	不登校児童・生徒対策事業	
				23	未来いなべ科事業				23	学援隊事業	
				24	教育相談・巡回相談事業				24	未来いなべ科事業	
	土地利用	指定区域内における住宅開発の周知・相談	農業生産活動の推進	25	都市計画推進事務	土地利用	指定区域内における住宅開発の周知・相談	農業生産活動の推進	25	教育相談・巡回相談事業	
				26	経営体等育成支援事業				26	教育支援委員会事業	
	産業振興	喜び農園の推進	観光によるまちづくりの推進	27	喜び農園推進事業	産業振興	喜び農園の推進	観光によるまちづくりの推進	27	都市計画推進事務	
				28	地産地消推進事業				28	経営体等育成支援事業	
				29	中心市街地活性化事業				29	喜び農園推進事業	
		企業誘致の促進	30	観光客受入施設管理事業	企業誘致の促進		30	地産地消推進事業			
			31	観光資源開発発信事業			31	中心市街地活性化事業			
			32	文化財保護事業			32	観光客受入施設管理事業			
			33	企業誘致推進事務			33	観光資源開発発信事業			
	防災	消防組織強化による消防力の向上	地域防災力の充実・強化	34	常備消防事業	防災	消防組織強化による消防力の向上	地域防災力の充実・強化	34	文化財保護事業	
				35	消防団事業				35	企業誘致推進事務	
				36	消防団研修訓練事業				36	常備消防事業	
				37	自主防災活動事業				37	消防団事業	
結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	地域公共交通	地域公共交通ネットワークの維持・強化	38	福祉バス事業	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	地域公共交通	地域公共交通ネットワークの維持・強化	38	消防団研修訓練事業		
			39	コミュニティバス事業				39	自主防災活動事業		
			40	三岐鉄道支援事業				40	福祉バス事業		
			41	駐輪場・駐車場管理事業				41	コミュニティバス事業		
	道路等の交通インフラの整備	幹線道路、生活道路の整備	東海環状自動車道整備促進に向けた連携	42		市道西方上笠田線自歩道設置事業	道路等の交通インフラの整備	幹線道路、生活道路の整備	東海環状自動車道整備促進に向けた連携	42	市道西方上笠田線自歩道設置事業
				43		市道大安東部線自歩道設置事業				43	三岐鉄道支援事業
				44		市道笠田新田坂東新田線道路改良工事業				44	駐輪場・駐車場管理事業
				45		市道江丸線道路改良工事業				45	市道西方上笠田線自歩道設置事業
				46		笠尾幹線1号線歩道補修事業				46	市道大安東部線自歩道設置事業
				47		路面性状調査事業				47	市道笠田新田坂東新田線道路改良工事業
				48		主要地方道四日市・員弁線整備促進事業				48	市道江丸線道路改良工事業
				49		国道421号整備促進事業				49	市道丹生川久下2区119号線道路改良事業
				50		東海環状自動車道整備促進事業				50	市道笠田新田中央線道路改良事業
	地域内・外移の住民との	空き家等の活用の推進	公共施設相互利用の促進	51		空き家住宅活用事業	地域内・外移の住民との	空き家等の活用の推進	公共施設相互利用の促進	51	市道阿107号線道路改良事業
				52		グリーンツーリズム推進事業				52	笠尾幹線1号線歩道補修事業
				53		グリーンクリエイティブいなべ推進事業				53	路面性状調査事業
				54		元気づくりシステム全国発信事業				54	主要地方道四日市・員弁線整備促進事業
				55		情報誌発行事業				55	国道421号整備促進事業
				56		ホームページ事業				56	東海環状自動車道整備促進事業
人材育成	行政職員の資質の向上	教職員の資質・指導力の向上	57	職員資質向上事業	人材育成	行政職員の資質の向上	教職員の資質・指導力の向上	57	空き家住宅活用事業		
			58	教育研究所事業				58	グリーンツーリズム推進事業		
			59	教育研究会事業				59	グリーンクリエイティブいなべ推進事業		
			60	市民活動センター事業				60	元気づくりシステム全国発信事業		
			61	地域人材育成事業				61	情報誌発行事業		
			62					62	ホームページ事業		
			63					63	公共施設相互利用促進事業		
			64					64	職員資質向上事業		
65		65	教育研究所事業								
66		66	教育研究会事業								
67		67	市民活動センター事業								
68		68	地域人材育成事業								


政策分野	1 生活機能の強化		項目	(2) 福祉			
連携する施策		オ 子育て支援センターの充実					
事業No.	21	事業名	子育て支援センター職員合同研修事業				
事業概要		子育て支援センターで、子育ての相談、情報共有を行うとともに、地域ぐるみの子育てを推進するため職員の研修を行う。					
事業主体		いなべ市、東員町					
役割分担		いなべ市及び東員町が連携して事業を実施する。					
事業費 (千円)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計
	いなべ市	－	0	50	50	50	150
	東員町	－	0	0	0	0	
スケジュール							
特定財源							
その他特記事項							

政策分野	1 生活機能の強化		項目	(3) 教育			
連携する施策		エ 外部専門機関との連携による学校負担の軽減					
事業No.	26	事業名	教育支援委員会事業				
事業概要		医師、教職員など各分野の専門家で構成された組織で、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒に対し、一人一人のニーズに応じた適正な就学のための調査や相談、審議を行う。					
事業主体		いなべ市					
役割分担		いなべ市が事業を実施する。					
事業費 (千円)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計
	いなべ市	－	128	128	128	128	
	東員町	－	0	0	0	0	
スケジュール							
特定財源							
その他特記事項							

政策分野	2 結びつきやネットワークの強化		項目	(2) 道路等の交通インフラの整備			
連携する施策		ア 幹線道路、生活道路の整備					
事業No.	48	事業名	市道丹生川久下2区119号線道路改良事業				
事業概要		位置：北勢町新町地内 (国道365号から青川峡キャンプパークへのアクセス道路) 延長：1,300m 幅員：10m (車道6.0m、歩道2.5m、路肩0.75m)					
事業主体		いなべ市					
役割分担		いなべ市が事業を実施する。					
事業費 (千円)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計
	いなべ市	65,000	70,000	100,000	48,000	48,000	311,000
	東員町	—	—	—	—	—	
スケジュール							
特定財源		社会資本整備総合交付金					
その他特記事項							

政策分野	2 結びつきやネットワークの強化		項目	(2) 道路等の交通インフラの整備			
連携する施策		ア 幹線道路、生活道路の整備					
事業No.	49	事業名	市道笠田新田中央線道路改良事業				
事業概要		位置：員弁町笠田新田・下笠田・御園 地内 (国道421号～員弁地区防災拠点【旧員弁高校】) 延長：140m 幅員：7.0m (車道5.5m、路肩0.75m)					
事業主体		いなべ市					
役割分担		いなべ市が事業を実施する。					
事業費 (千円)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計
	いなべ市	10,000	24,000	20,000	73,000	73,000	200,000
	東員町	—	—	—	—	—	
スケジュール							
特定財源		社会資本整備総合交付金					
その他特記事項							

政策分野		2 結びつきやネットワークの強化		項目	(2) 道路等の交通インフラの整備			
連携する施策		ア 幹線道路、生活道路の整備						
事業No.	50	事業名	市道楚原中央線道路改良事業					
事業概要		位置：員弁町楚原・北金井・石仏地内 (県道四日市員弁線～員弁地区防災拠点【旧員弁高校】) 延長：500mのうち110m 幅員：10.0m(車道：6.0m、歩道2.5m、路肩：0.5m)						
事業主体		いなべ市						
役割分担		いなべ市が事業を実施する。						
事業費 (千円)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
	いなべ市	—	30,000	—	—	—	30,000	
	東員町	—	—	—	—	—		
スケジュール								
特定財源								
その他特記事項								

政策分野		2 結びつきやネットワークの強化		項目	(2) 道路等の交通インフラの整備			
連携する施策		ア 幹線道路、生活道路の整備						
事業No.	51	事業名	市道阿107号線道路改良事業					
事業概要		位置：北勢町阿下喜地内 (新庁舎～主要地方道北勢多度線・県道南濃北勢線) 延長：600m 幅員：12.5m(車道：6.0m、歩道：2.5m【両側】、路肩：0.75m)						
事業主体		いなべ市						
役割分担		いなべ市が事業を実施する。						
事業費 (千円)	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	計	
	いなべ市	50,300	577,100	677,600	—	—	1,305,000	
	東員町	—	—	—	—	—		
スケジュール								
特定財源								
その他特記事項								



## 成果指標の設定について

項目	連携する施策	連携する事業数	具体的取組に関する成果指標（KPI）	単位	圏域	実績値				
						H27	H28	H29	H30	H31
医療	中核病院であるいなべ総合病院の機能確保	5	いなべ総合病院の医師数 (研修医含む)	人	総数	36	40	42	43	45
	一次救急（在宅医輪番制）体制の確保	1	いなべ総合病院の診療科数	科	総数	22	22	22	23	23
	二次救急（病院群輪番制）体制の確保	1	在宅医当番制による 日曜日及び年末年始の診療日数	日	総数	72	72	72	72	72
	適正受診等の啓発	2	妊婦健診受診等啓発事業「命の授業」を 受講した中学2年生の生徒数	人	総数	655	650	650	650	650
					いなべ市	455	450	450	450	450
				東員町	200	200	200	200	200	
	防災対策の計画的な推進	2	防災ヘリの活用件数	件	総数	5	5	5	5	5
福祉	地域包括ケアシステムの構築	1	民生委員から 地域包括支援センターへの相談件数	件	総数	415	439	454	469	484
					いなべ市	321	330	330	330	330
					東員町	94	109	124	139	154
	介護サービスの推進	2	介護認定件数	件	総数	3,294	3,100	3,100	3,100	3,100
					いなべ市	2,347	2,200	2,200	2,200	2,200
	障がい者福祉サービスの推進	5	障害福祉サービス等利用者数 (各年延べ)	人	総数	5,143	5,440	5,740	6,040	6,340
					いなべ市	4,922	5,200	5,500	5,800	6,100
	障がい児福祉サービスの充実	1	子どもの発達にかかわる相談件数 (各年延べ)	件	総数	390	410	420	430	440
					いなべ市	216	230	240	250	260
	子育て支援センターの充実	1	子育て支援センターの利用者数	人	総数	48,352	48,600	48,700	48,800	48,900
いなべ市					37,973	38,000	38,000	38,000	38,000	
				東員町	10,379	10,600	10,700	10,800	10,900	
教育	不登校などの課題に対する適切な対応	1	ふれあい教室通級児童生徒の 学校への復帰率	%	総数	56	60	60	60	60
	地域による学校支援の充実	1	各校に登録する学援隊員数（累計）	人	いなべ市	1,594	1,600	1,700	1,800	1,900
	地域に根ざした特色ある学校づくりの推進	1	全国学調で「地域・社会貢献」を 考える中学3年生の割合	%	いなべ市	36	40	43	46	50
	外部専門機関との連携による学校負担の軽減	2	子どもの発達にかかわる相談件数 (各年延べ)	件	総数	390	410	420	430	440
いなべ市					216	230	240	250	260	
東員町					174	180	180	180	180	
土地利用	指定区域内における住宅開発の周知・相談	1	建築開発申請件数	件	総数	131	160	160	160	160
					いなべ市	118	150	150	150	150
					東員町	13	10	10	10	10
産業振興	農業生産活動の推進	1	農地利用集積率	%	いなべ市	75	80	85	85	85
	喜び農業の推進	1	喜び農業推進事業面積（延べ）	m <sup>2</sup>	東員町	1,000	1,000	2,000	2,000	2,000
	観光によるまちづくりの推進	5	観光入り込み客数	人	総数	558,330	585,200	589,200	589,300	589,700
					いなべ市	396,797	417,900	417,900	417,900	418,200
					東員町	161,533	167,300	171,300	171,400	171,500
企業誘致の促進	1	企業立地件数（各年）	件	総数	2	1	1	2	2	
				いなべ市	2	1	1	1	1	
				東員町	0	0	0	1	1	
防災	消防組織強化による消防力の向上	3	消防団員数（累計）	人	総数	417	425	425	425	425
					いなべ市	321	327	327	327	327
					東員町	96	98	98	98	98
	地域防災力の充実・強化	1	自主防災組織設置数（累計）	自治会	総数	86	88	89	90	91
いなべ市					63	65	66	67	68	
				東員町	23	23	23	23	23	
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの維持・強化	4	北勢線利用者数	人	総数	2,544,374	2,459,000	2,469,000	2,479,000	2,490,000
道路等の 交通インフラの整備	幹線道路、生活道路の整備	12	整備道路総距離数	km	総数	819,213	819,214	820,214	824,215	831,215
					いなべ市	595	595	596	600	607
					東員町	224,213	224,214	224,214	224,215	224,215
	東海環状自動車道整備促進に向けた連携	1	圏域の高速道路設置延長距離	km	総数	0	1.7	0	8.9	2.8
いなべ市					0	0	0	2.8	2.8	
				東員町	0	1.7	0	6.1	0	
地域内外の住民との 交流・移住促進	空き家等の活用の推進	1	空き家バンク登録物件の契約成立件数 (累計)	件	総数	41	46	52	58	64
					いなべ市	41	45	50	55	60
					東員町	0	1	2	3	4
	交流・移住の促進	5	ホームページ閲覧件数	件	総数	640,247	654,000	700,000	712,000	734,000
					いなべ市	377,602	384,000	420,000	432,000	444,000
					東員町	262,645	270,000	280,000	280,000	290,000
公共施設相互利用の促進	1	施設利用者数	人	総数	519,605	531,000	533,000	535,000	537,000	
				いなべ市	289,810	300,000	301,000	302,000	303,000	
				東員町	229,795	231,000	232,000	233,000	234,000	
人材育成	行政職員の資質の向上	1	職員研修会参加者数	人	総数	17	38	38	38	38
					いなべ市	11	30	30	30	30
					東員町	6	8	8	8	8
	教職員の資質・指導力の向上	2	教職員研修会参加者数	人	総数	1,393	1,500	1,500	1,500	1,500
					総数	182	184	188	193	200
	市民活動団体の資質の向上	1	登録団体数	団体	いなべ市	119	120	122	125	130
					東員町	63	64	66	68	70
	圏域内の企業・住民などの人材育成の推進	1	研修会等参加者数	人	総数	1,050	1,200	1,400	1,600	1,750
いなべ市					1,050	1,200	1,400	1,600	1,750	
東員町					0	0	0	0	0	

旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン懇談会 会議録

会議名	第1回 旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン懇談会
開催日時	平成28年11月14日(月) 10:00~11:30
開催場所	いなべ市員弁町員弁コミュニティプラザ 2階 集会室
出席者	<p>【委員】15名(欠席:桑原浩、岡本恒一、佐藤秀子)          岩崎恭典、後田和也、石川雅一、遠藤昭己、三林孝夫、池田秀夫、          荒木佳子、滝本収、土岐昌男、佐藤忠生、伊藤良子、神谷清、中村武司、          寺田昭治、杉山昌嗣</p> <p>【事務局等】12名(欠席:副市長)          (いなべ市:総務部長、都市整備部長、福祉部長、健康こども部長、          農林商工部長、建設部長、発達支援課長、企画部長、政策課長、          政策課3名)</p> <p>【オブザーバー】9名(欠席:桑名地域防災総合事務所地域防災課課長)          (東員町:総務部長、生活部長、福祉部長、教育委員会事務局長、政策課長、          政策課2名)(三重県:地域連携部地域連携課主査、桑名地域防災総合事務所地          域調整防災室地域防災課主幹)</p>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 委嘱状交付</li> <li>3. 委員等自己紹介</li> <li>4. 座長あいさつ</li> <li>5. 説明及び審議事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成27年度事業取組経過報告について</li> <li>(2) 平成28年度追加施策等について</li> <li>(3) 成果指標の設定について</li> </ol> </li> <li>6. 意見交換会</li> <li>7. 閉会</li> </ol>
配布資料	<p>【資料1】平成27年度事業取組経過報告書 修正版</p> <p>【資料2】具体的取り組み 新旧対照表</p> <p>【資料3】第2次共生ビジョン追加事業詳細表</p> <p>【資料4】成果指標の設定について</p>
公開、 非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0人
議 事 概 要	
<p><b>1. 開会</b>  <b>【事務局】</b>          定刻となりましたので、ただいまより平成28年度旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催いたします。          週初めの朝から何かとお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>ではお手元の次第に基づき進めさせていただきます。</p>	

## 2. 委嘱状交付

委員の委嘱状交付についてですが、本来ならお一人ずつお渡しさせていただくべきですが、時間の都合上机の上に置かせていただきましたので、これをもって交付とさせていただきます。なにとぞご了承をよろしくお願いいたします。

## 3. 委員等自己紹介

【事務局】

第2次共生ビジョンのより充実を図るため、今回より「子育て」「産業振興」の分野で新しく代表の方にお世話いただくことになりました。また、今までの分野におきましても新しく委員としてお願いさせていただきましたので、みなさん自己紹介をお願いいたします。

～座長より時計回りにて自己紹介～

【いなべ市福祉部長】 平成28年度在宅医療市民講演会の案内

平成28年度より東員町と連携して在宅医療・介護連携推進事業を進めています。今年度も12月18日に講演会及び医療・介護フェアを開催いたします。お時間ありましたら、ご参加ください。

## 4. 座長あいさつ

【座長】

改めましてよろしくお願いいたします。

この定住自立圏の取組自体もだいぶ長いものになりました。新しく加わっていただいた方、あるいは職の交代でご参加いただいた方もお見えなので過去を振り返ってみたいと思います。お手元の第2次旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン P74 取組経緯をご覧くださいと思います。平成21年にいなべ市が中心都市宣言を行い、平成22年4月に両市町で協定が結ばれ、第1回目の懇談会が開催されました。ここで、計画を作りその計画に基づく事業をきっちりとこなしてきたというのが、今までの経緯です。

私自身、非常に印象に残っているのは、医療の充実が課題だったのでいなべ総合病院の医師数確保や、ヘリポート等を具体的の実現いただいたと理解しています。福祉の部分では、障害者・高齢者の福祉についてそれぞれ両市町で取り組んできた、また共同して取り組んできたことで着実にこなしてきたという印象を持っています。

その後、第2次共生ビジョンの策定にあたっては、それぞれの専門の立場からより具体的な検討を加えていく必要があるということで、懇談会終了後に両市町の担当の方々に分科会を行い、具体的な提案を定住ビジョンに載せていく話し合いをしていただきました。その結果として、「産業振興」と「子育て」の関係者が議論に参加し、そしてこの共生ビジョンの実現に向けてお力をお借りしたいとのことで新たに加わっていただきました。

そういった中で、この共生ビジョンの27年度の事業取組経過報告についてお伺いすると同時に、28年度に追加をされた施策につきましてはここで合議をいただきたいと思っています。それと共に、具体的な指標を設定して、その指標を基にそれが達成されたか達成されていないかということを検証できるようなもの“指標”を設定しなさいと、この定住自立圏共生ビジョンも指標の設定というものが本年度の課題としてつい最近示されたと理解しております。昨年、いなべ市も東員町も作成しました、地方創生総合戦略の中でも最終的な評価の基準となるよう指標を設定しなさいと国が言っておりますが、それと同じようなことをこの共生ビジョンでも設定する必要があるとの指摘が国の方からありましたので、それをご報告いただくことになっています。その中で審議事項というものは、平成28年度新規施策等の部分であります。それをまず共通認識とした上で、さっそく5番目の説明及び審議事項に入っていこうと思います。

5-(1). 平成27年度事業取組経過報告について

【事務局】

～資料1「旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン 平成27年度事業取組経過報告書 修正版」により説明～ 5ページ以降は省略。

【座長】

平成27年度の事業取組経過報告、特に事業の執行状況が低かったもの、あるいは計画額より高かった理由を説明いただきました。内容については、それぞれ見ていただければという説明でしたが、27年度の事業取組経過報告について何かご質問ございますでしょうか。

【委員】

項目別に全体を見て自分なりの客観的な目をもって、考察を書いてきました。そうすると、1番から11番までが生活機能強化に関わる実施項目の2番目

【事務局】

その他事項